

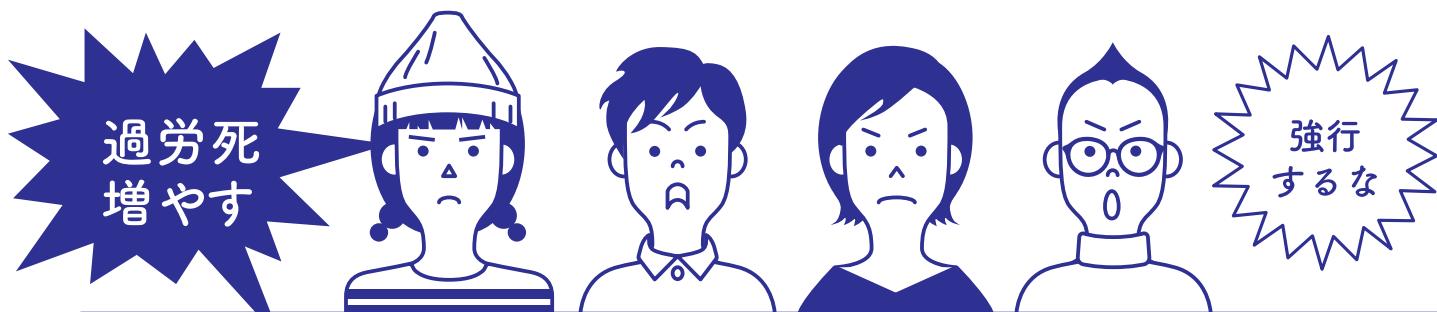
公文書

日報

データ

改ざん、隠ぺい、ねつ造 暴走内閣が「命を奪う」

法案つくる資格はない！



「働きかせ方」改悪法案強行採決許せない！

＼ デタラメデータで法案通すな ／

“スーパー裁量労働制”と呼ばれる高度プロフェッショナル制度含む一括法案は、全データの2割に異常が発覚。命に関わる法案を強行することは許されません。

＼ 無制限の長時間労働は現代の奴隸労働 ／

年間104日さえ休めば、24時間労働を48日間連続させても合法という高度プロフェッショナル制度。年収1075万円以上の年収要件は法案にはありません。

＼ 『過労死認定』は今よりもっと困難に ／

高度プロフェッショナル制度で働く場合、企業側の労働時間管理がゆるくなり、働きすぎても、使用者の責任を問うことが難しくなると懸念されます。

世論を広げ悪法を廃案に追い込みましょう！

←日本共産党愛知県委員会 若者雇用対策部長 すやま初美

8時間働けば普通に暮らせる社会へ

日本共産党



「働きかせ方」大改悪をやめさせ、 まともな働き方改革を実現するために

日本共産党の労働基準法等改正大綱

1 「高度プロフェッショナル制度」を削除し、企画業務型裁量労働制の廃止をはじめ裁量労働制を抜本的に見直します

年間 104 日さえ休めば、24 時間労働を 48 日間連続させても合法の過労死を促進・合法化する高度プロフェッショナル制度を削除します。

2 残業時間の上限を月45時間、年360時間（労働省告示154号）とし、連続 11 時間の休息時間（勤務間インターバル）を確保します

労働省告示 154 号に法的拘束力をもたせます。一日の労働が終わり、次の労働がはじまるまでのあいだに連続 11 時間の休息時間を確保することを法制化します。

3 サービス残業をなくすため、実労働時間を正確に把握・記録し、「サービス残業」が発覚したら残業代を2倍にします

労働時間管理台帳と賃金台帳を閲覧できるようにして『働きすぎ』を会社も本人も第三者もチェックできる仕組みに。「サービス残業」代を 2 倍にし、サービス残業を抑制します。

4 パワハラ・セクハラへの規制を強化します

パワハラ・セクハラ行為を防止するために、厚生労働省は企業にたいして助言、指導、勧告をおこないます。勧告に従わない企業名を公表します。パワハラの是正指導を労働局に求めた労働者に対する不利益とりあつかいを禁止します。

5 同一労働同一賃金と均等待遇を法律に明記し、正規と非正規、男女の格差をなくします

政府案は能力、業績、企業への貢献、「人材活用の仕組み」などによる賃金格差を法的に容認するものになっています。同一労働同一賃金を法律にしっかりと明記します。

6 雇用対策法改定案から「生産性の向上」と「多様な就業形態の普及」を削除するなど、雇用対策法を変質させません

法律の名称および目的に雇用対策を明記するようにします。